

4大学スクラム講座 とは



平成17年度から北九州市の4大学(九州工業大学、九州歯科大学、産業医科大学、北九州市立大学)は、国公立の大学間の垣根を越え、お互いの特色を生かしつつ連携し合い、単一の大学では実現できない多様で質の高い講座を実現するため、各大学の強みを生かした公開講座を実施してきました。

本年度も引き続き、地域での生涯学習の場を提供するため、市民の方々を対象に連携して公開講座を開講します。

お申し込み

期 間 平成29年11月2日(木)まで

方 法 はがき、FAX、電子メールのいずれかの方法にて、住所、氏名、年齢、電話番号、「4大学スクラム講座希望」とご記入の上、下記までお申し込みください。

お問い合わせ先 公立大学法人 北九州市立大学 地域・研究支援課
〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
TEL.093-964-4194 FAX.093-964-4221
E-mail:chiiki@kitakyu-u.ac.jp



会場

西日本総合展示場 AIMビル3階
314・315会議室

アクセス

- JR / JR小倉駅より徒歩5分
- 車 / 北九州都市高速道路
 - 小倉駅北ランプより1分
 - 足立ランプより8分

平成29年度

4大学スクラム講座

11月25日(土)



北九州市立大学 14:00 ~ 15:30

国際環境工学部 環境生命工学科 教授 森田 洋

「い草の良さを見直そう！
～日本文化を支えるい草のチカラ～」



九州工業大学 15:45 ~ 17:15

大学院情報工学研究院
生命情報工学研究系 教授 山崎 敏正

「脳波から何が分かるか」

定員
100名

11月26日(日)



九州歯科大学 14:00 ~ 15:30

顎口腔機能矯正学分野 教授 川元 龍夫

「歯並びについて知ろう
～いつ始めるの、どう治すの～」



産業医科大学 15:45 ~ 17:15

産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 教授 大和 浩

「受動喫煙と東京五輪、
レストラン全面禁煙の意外な関係」

平成29年11月25日(土)・26日(日) 14:00 ~ 17:15(両日共)

西日本総合展示場 新館(AIMビル)3階 314・315会議室

受講料(実費負担分) 1,000円

11 / 25
SAT

14:00~15:30

北九州市立大学



「い草の良さを見直そう！」 ～日本文化を支えるい草のチカラ～

国際環境工学部 環境生命工学科 教授 森田 洋

畳の原材料として広く知られているい草ですが、その歴史は今から1300年以上前からともいわれています。その間、い草は畳表としてだけでなく、消炎剤や利尿剤などの薬草としての利用や、行灯の灯心としても使われてきたことから、古くから日本文化を支えてきた代表的な農作物ともいえます。しかし今、このい草が大きな岐路に立たされています。建物の洋風化など生活スタイルの変化により、和室が激減しているためです。そこで本講座ではい草の良さをもう一度皆さんに見直していただくために、い草がもつ様々な機能性について、住環境や食環境の面からやさしく解説します。

profile

1999年 九州大学大学院農学研究科博士課程修了、博士（農学）
1999年 国立八代工業高等専門学校生物工学科助手
2001年 北九州市立大学国際環境工学部講師、助教授（准教授）を経て、
2014年より教授、現在に至る。

[専門領域] 食品工学、微生物制御学
[学会活動・社会活動等] 室内環境学会評議員、日本防菌防黴学会評議員、農林水産省地理的表示法区分別検討委員、西南女学院大学非常勤講師、九州国際大学非常勤講師など。
数物新聞社特別功労賞（2006）、ものづくり日本大賞特別賞（2012）など受賞。

11 / 25
SAT

15:45~17:15

九州工業大学



「脳波から何が分かるか」

大学院情報工学研究院 生命情報工学研究系 教授 山崎 敏正

ヒトの頭皮上に貼り付けられた電極によって観察される頭皮脳波は、脳（神経細胞）の電気的な活動を間接的に反映しています。また、頭皮脳波は、非侵襲的で、安価な脳活動計測方法です。本講では、この脳波の発生メカニズムを説明すると共に、脳波から脳のモデル（BFCN: brain functional connectivity network）を構築し、その応用として、
・運動準備電位に注目したSSBCIJ（Silent Speech Brain-Computer Interface in Japanese）
・BFCNを利用した英語学習効果の定量的評価
・BFCNを利用した、認知症患者と健常者の違いの視覚化を紹介します。

profile

1980年3月北海道大学理学部数学科卒業
1985年3月北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程単位取得退学
1988年3月工学博士（北海道大学）
1985年4月日本電気(株)入社
1991年～1992年オランダ国立眼科学研究所客員研究員
2007年5月日本電気(株)中央研究所ビジネスイノベーションセンター
2007年6月～現職。

<専門領域> BCI、BFCN
<主な学会活動> 計測自動制御学会アソシエイトエディター
<社会活動>
2016年8月3日～7日 考古学関連（「浅間古墳 発掘を夢見て①～⑤」富士ニュース
2016年2月28日 講演会「浅間古墳考～わがふるさとの一級品～」
2017年3月19日 講演会「浅間古墳一被葬者はどこから来たか」



「歯並びについて知ろう」 ～いつ始めるの、どう治すの～

顎口腔機能矯正学分野 教授 川元 龍夫

日本人における不正咬合者の割合は、文献によると49.6%ともいわれており、さらに矯正歯科治療が必要な人の割合は約18%とされています。不正咬合がもたらす障害には、摂食、咀嚼、発音などの口腔機能の障害や審美性が損なわれることによる社会生活における様々な問題や心理的障害などがあります。歯科矯正治療はこのような障害を予防したり、回復することにより患者さんの健康およびquality of life(QOL)の向上に貢献することをその目的としています。しかし実際には、歯並びが悪く矯正治療をしたいのだけど、いつぐらいから始めればいいのか？また何が原因となってくるのか？どのように歯科矯正治療は進んでいくのか？よく理解されていないのが現状だと思います。今回の講演では、これらの点に着目し、実際の症例をみていただきながら皆さんに矯正歯科治療に興味をもっていただければ幸いです。

profile

1992年（平成4年） 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了 博士（歯学）
1992年（平成4年） 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員
2000年（平成12年） 東京医科歯科大学大学院 顎顔面矯正学分野 助手
2007年（平成19年） 東京医科歯科大学大学院 顎顔面矯正学分野 助教
2010年（平成22年） 東京医科歯科大学大学院 顎顔面矯正学分野 講師
2012年（平成24年）～2013年（平成25年） Visiting Research Fellow Department of Orthodontics and Craniofacial Biology, Radboud University, Nijmegen Medical Centre, Nijmegen, the Netherlands.

2015年（平成27年）九州歯科大学 顎口腔機能矯正学分野 教授
日本矯正歯科学会；認定医、指導医、管理指導医、代議員、学術委員会委員、九州矯正歯科学会；理事（編集担当）、口腔病学会；評議員、九州歯科学会；評議員、日本顎変形症学会；評議員、編集査読・用語検討委員、認定医検討委員、福岡県社会福祉審議会委員



「受動喫煙と東京五輪、 レストラン全面禁煙の意外な関係」

産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 教授 大和 浩

すでに世界の55か国、米国30州がレストランやバーを含めて屋内は全面禁煙となっており、わが国でも2020年の東京五輪の準備としてレストランや居酒屋を含めて全面禁煙とする法規制が検討されています。屋内の禁煙化は喫煙者の利便性ではなく、レストラン等で働く従業員やオーナーの労働環境と健康問題として考えねばなりません。「レストラン等を禁煙化すると売り上げが落ちる」というのは杞憂に過ぎません。禁煙化された国では受動喫煙を敬遠していた非喫煙者が多く来店し、営業収入は改善しています。屋内禁煙化の必要性を健康、政治、経済、国際問題から解説します。また、使用者が急増している非燃焼・加熱式タバコの問題点と規制すべき根拠についての最新情報を紹介します。

profile

昭和61年3月 産業医科大学医学部医学科卒業

専門領域：①喫煙対策、②運動による健康増進
学会活動：日本産業衛生学会指導医
社会活動：講演、新聞、テレビ、ラジオでのタバコ対策の啓発

11 / 26
SUN

14:00~15:30

九州歯科大学

11 / 26
SUN

15:45~17:15

産業医科大学